

牛久：学校周辺に見る自然

第60号 中根小（、ひたち野うしく小、宮内家）

2011年3月23日発行

＜一足お先に！ ～冬芽観察（第57号）続報＞



↑桜（ソメイヨシノ）の冬芽
左が花芽、右は葉芽。

↑左の冬芽の縦断面

左の2枚の写真は、中根小4年生が1/20に観察した校庭の桜（ソメイヨシノ）の冬芽縦断面です（第57号で紹介）。

復習になりますが、芽には2種類あり、太っちょの芽には、もう雄しべまで分かる花の赤ちゃんがかくれています。細長い先のとがった芽には、葉っぱの赤ちゃんがつかっていましたね。こうして冬の乾燥や寒さから守られているということでした。

その時使った残りの枝をビンに挿しておき、週2日の勤務日に水を取りかえていたら、3月に入って蕾がぐんぐんと大きく膨らみだし、そしてあれだけの大地震にも、何事もなかったかのように次々と咲きました。

もう授業は終わっているのですが、すでに冬芽の断面を観察していたので、1つの花芽に複数の花が入っていることや、開花が先で葉はまだほとんど開いてこないなど、より理解が深まったのではないのでしょうか。

校庭の枝でもだいぶ花芽が大きくなってきましたが、開花まではまだちょっとかかりそうですね。暖房のない理科準備室でも、やはり外よりはだいぶ暖かいのでしょうか。

皆さんも、枝をはらった庭木など、部屋の中でビンに挿しておく、芽が開いて花が咲いたり葉が開いてくる様子など観察できますよ。ぜひ、やってみてください。

おまけ(右)は、我が家のサクランボ。20日の日曜午後に咲き始めました。
【理科支援員・宮内】



↑膨らんできた蕾（3/9、矢崎先生撮影）

一つの花芽に3、4個の花が入っている場合が多いようでした。開花が先で、葉芽は、まだほとんど開いてきません。



↑咲いている花の写真を撮り損ねました。

これは昨年4/9、ひたち野うしく小校庭で撮影したものです。

サクランボの花・3/20宮内家↑